

# JACET-Kansai Newsletter

No. 36 February 2, 2007

Chapter President: 木村博是 (Hiroshi Kimura, Kinki University)

JACET-Kansai Office: 〒522-8533 彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学 小栗裕子研究室

(Yuko Oguri, The University of Shiga Prefecture, 2500 Hassaka-cho, Hikone-city 522-8533)

Tel: 0749-28-8252 Fax: 0749-28-8619 E-mail: yoguri@ice.usp.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

Postal Account : 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部 (Daigaku Eigo Kyoiku Gakkai Kansai Shibu)

## テクニックよりも大切なこと

支部長 木村博是

今日、インターネットやメールの普及で情報があふれ、欲しい情報を簡単に入手し、また流すことができます。しかし、情報を求める人が多い反面、自分のプライベートなことを他人に知られるのをいやがる人もいます。そのため IT 社会で、だれもが安心して個人の権利利益が保護されるように個人情報保護法が 2005 年 4 月に施行され、個人情報が第三者に流れないように配慮されるようになりました。

最近ではデリケートな若者が多く、ちょっとしたことばに傷つく学生も少なくありません。英語で自己紹介させることが、気軽に授業の一環として行われます。自己紹介はプライベートなことを話すわけですから、一見簡単に思えます。しかし恥ずかしい、自分のことは知られたくないといった、英語力とは別の理由でしたくないと思う学生もいます。また What are you going to do after school? や Where will you go during the summer vacation? と聞くのは個人的な質問であるだけでなく、答えが限定されているので、このような発話はあまり発展性がありません。ではどう対処すればよいのでしょうか。

自分の意思を伝達するだけなら、テクニックに身振り手振りのボディランゲージを交えてできます。しかし授業でことばを学ぶことの楽しさを味わうためには、テクニックだけでなく、よく言われるように how to say よりも what to say が大切なのです。

例えば、最近のアメリカやカナダの語学学校での授業風景は、自己紹介は名前 (given name) と出身国を伝えるぐらいです。もちろん、それ以上のことを話したい人は話してもいいのですが、基本的にはプライベートなことを話すのは少しだけです。その代わりに、自分の国の有名人 (household names) の紹介をさせられることがよくあります。日本人なら、例えばオノ・ヨーコ、イチローなどを英語で紹介すればいいのです。自分のことではないので恥ずかしくないし、好きな有名人のことを話すのは楽しいものです。授業前にコンピュータールームでインターネットから情報を入手し、それを自分のことばでまとめてプレゼンテーションさせるという授業方法を取る場合もあります。

会話の授業展開については二つのタイプが考えられます。一つは記事やニュースを読んで、その内容について会話をします。この方法は素材になっている記事やニュースなどから、文化的・社会的情報やその分野の語彙を学ぶことができ、会話に深みが出ます。もう一つは、自分が他の誰かであると仮定して会話を進めます。最初に Suppose you are the president of the insurance company. とか Suppose you work for the Bank of America. といったように仮定し、他人の立場で会話をします。自分とは違う人を演じることで、違った視点から物事を考える楽しさを味わうことができます。どちらのタイプもプライベートなことを言う必要がないので、ことばで傷つくことはありません。

つまり、学生が積極的に発言できるようなシチュエーションを作ることが大切だと思います。単にプライベートな意見を求めるのではなく、時には完全に別人になりきって他人の立場で意見を構築する方が、広い視野でものごとを見る力を養うことができ、授業に発展性をもたらします。

ことばには不思議な魅力があります。元気を与えることば、楽しくさせることば、心に残ることばなど、どれもことばが持つ宝物です。しかし、逆に何気ないことばが、相手を傷つけることもあります。授業では、コミュニケーションのテクニックを教えるだけでなく、思いやりのあることばを通じて、よりよいシチュエーションを与えるように配慮することが大切ではないでしょうか。

研究企画委員会よりお願い

委員長 林桂子

Newsletter や HP でお知らせしておりますように、2007 年度 JACET 関西支部春季大会が 6 月 2 日(土)に関西学院大学・西宮上ヶ原キャンパスにて開催されます。日本の英語教育の発展には、JACET 関西支部会員の一人一人のお力が必要とされています。日頃の研究成果を、是非ご披露ください。発表申し込みの締切は 2 月 14 日です。奮ってご応募・ご参加くださいますようお願いしております。ワークショップ・研究発表・実践報告の詳細は次のとおりです。

1. 発表は英語教育および関連分野に関する未発表のものに限ります。
2. 研究発表・実践報告は、発表が20分、質疑応答が10分、合計30分の形式になります。
3. 応募者は、応募書類(A、Bの2種)を、E-mail添付、または「研究発表申込在中」と朱書きした封筒にて、事務局まで送付してください。  
応募書類はHP (<http://www.jacet-kansai.org/>) からダウンロードできます。

A) 応募情報

- a) 発表形式: ワークショップ、研究発表、実践報告の別をご記入ください。
  - b) 発表題目(日本語と英語)
  - c) 発表者情報(共同発表は全員): 氏名(漢字とローマ字)、所属(日本語と英語)、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail
  - d) 発表に使用する言語
  - e) 使用希望機器(無い場合は「なし」と明記)
- B) 発表要旨(目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等)日本語の場合は800字(A4用紙ワープロ打ち)程度、英語の場合は300-400 words(A4用紙ワープロ打ち)、無記名とする。

送付先: E-mail:事務局小栗 [yoguri@ice.usp.ac.jp](mailto:yoguri@ice.usp.ac.jp)  
(郵送の場合) 〒522-8533 彦根市八坂町2500  
滋賀県立大学 小栗裕子研究室内  
大学英語教育学会 関西支部事務局

JACET共催セミナー 関西英語教育学会

第10回卒論・修論研究発表セミナー開催案内

日時: 2月10日(土) 10:00-17:00

会場: 関西大学千里山キャンパス

参加費: 会員無料、非会員学生・院生: 1000円、  
非会員一般: 2000円

当日は、今ホットな話題について「聴衆参加型シンポジウム」を開催しますので、フロアから積極的なご発言をいただきますようお願い申し上げます。

テーマ:「小学校英語教育必修化をめぐって-学校英語教育を考える-」

コーディネータ: 竹内 理氏(関西大)

シンポジスト: 賛成派の立場から: 渡邊時夫氏(清泉女学院大) 慎重派の立場から: 大津由紀雄氏(慶應義塾大)。詳細は <http://keles.hp.infoseek.co.jp/> をご覧ください。

\* 第2回講演会のお知らせ \*

日時: 3月4日(日) 15:30-17:00

場所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス  
(アプローズタワー14階)

講師: 西村和雄氏(京都大学教授)

演題: 日本の教育-私達の責任は何か-

講演会終了後、がんど梅田本店にて西村先生をお招きしての懇親会を予定しています。講演会の詳細及び懇親会のお申し込みにつきましては、同封の「講演会開催のお知らせ」をご参照ください。